

「廃棄物処理施設の基幹的設備改良工事」の受注と完了

～施設の長寿命化と CO₂ 削減に貢献～

廃棄物処理施設は竣工後の年数が進むにつれて経年劣化による不具合や性能低下が起こってきます。これに対して将来も安定的にごみ処理事業を継続していく必要があることから、後継となる新しい施設の建設以外に、既存施設の主要設備・機器の更新や改良を行って施設の延命化を図る「基幹的設備改良工事」が行われています。

当社ではお客様のニーズに応えるべく、基幹的設備改良工事を通して、延命後の長期的な安定稼働の確保と最新技術の導入による CO₂ 排出量の削減を行っています。さらにこれまで蓄積してきた運転ノウハウを最大限活用して施設を適切な管理のもと長期間にわたり使用可能とすることで、廃棄物処理施設の整備に係わるトータルコストの縮減と平準化に寄与し、安定かつ安心・安全な廃棄物処理の実現に貢献しています。

基幹的設備改良工事では、現在の施設がごみ処理運転に伴って排出する CO₂ 量を、改良工事を行うことで一定割合以上の削減を達成する等の要件を満たすことで、環境省の二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金または循環型社会形成推進交付金を受けることが可能となっています（いずれの補助金/交付金を受けるかは種々要件によります）。本項で紹介する事業では、いずれもこれらの補助金・交付金を活用することで各自治体の事業費抑制に貢献しています。

当社は、「今を越える発想で、健やかな環境と暮らしを次世代へ」をミッションとするなかで、これまで培ってきた計画から設計・建設・運営・維持管理までの一連の基盤技術に最新の技術を導入し、新設工事のみならず高いニーズがある基幹的設備改良工事へ最適な提案で応え、2030年度に目指すべき事業像として掲げる「カーボンニュートラルのトップ企業」を目指し、今後も SDGs の実現に向けて取組んでいきます。

【基幹的設備改良工事の受注】

1. さしまクリーンセンター寺久熱回収施設 基幹的設備改良工事

- ①施設竣工：2008年3月（受注時 約17年経過）
- ②工 期：2025年7月から2028年3月まで
- ③焼却方式：流動床式ガス化溶融炉
- ④施設規模：206 t/日（103 t/24 h × 2 系列）
- ⑤本工事の特徴：

- ・稼働後約17年経過した同施設の機能を回復させると同時に、工事後15年以上の施設延命化を図ります。
- ・最新設備の導入、プレミアム高効率モータ採用、インバータ化、発電能力増強等により省電力化を図ります。
- ・上述設備改善での省電力化により CO₂ 排出量を 3 % 以上削減することで、環境省の循環型社会形成推進交付金を活用します。



【基幹的設備改良工事の完了】

1. ビュークリーンおくえつ 基幹的設備改良工事

①施設竣工：2006年7月（受注時 約17年経過）

②工 期：2023年7月から2026年2月まで

③焼却方式：流動床式ガス化溶融炉

④施設規模：92 t/日（46 t/24 h × 2 系列）

⑤本工事の特徴：

- ・稼働後約17年経過した同施設の機能を回復させると同時に、工事後15年以上の施設延命化を図りました。
- ・最新設備の導入，プレミアム高効率モータ採用，インバータ化，タービン発電化等により省電力化を図りました。
- ・上述設備改善での省電力化により CO₂排出量を 5 % 以上削減することで，環境省の二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金を活用しました。
- ・工事は停止中の系列で順次実施することで，通常操業に支障なく進めました。

